



<CAM フィリピン・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2019年8月21日

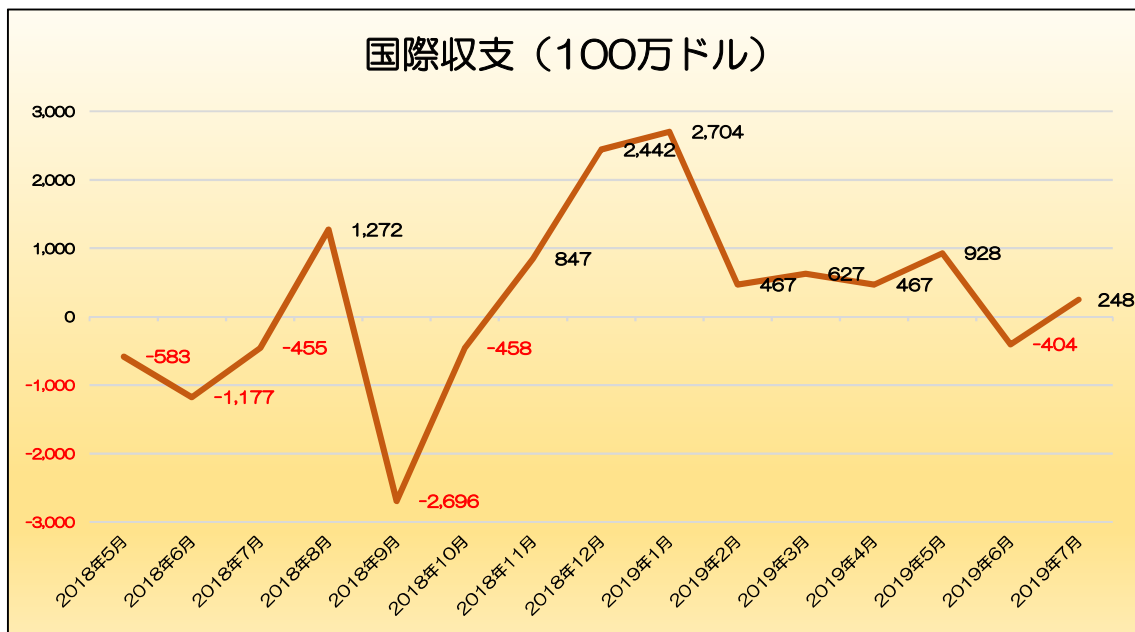
フィリピンの国際収支

7月は黒字転換

フィリピン中央銀行(BSP)が発表した純外貨準備高の変動から算出した7月の月間国際総合収支は約2.48億ドル(約264億円)の黒字と、前月の赤字から黒字へ転換した。

2019年1-7月の累計は約50.36億ドルの黒字となった。フィリピン人海外就労者(OFW)からの送金及び年初5カ月間の外資直接投資(FDI)の純流入が寄与している。

7月末の総外貨準備高は約851.8億ドル(改定値)で、輸入の7.4カ月分に相当する水準で、元本ベース短期負債の5.2倍、残存ベース短期負債の3.8倍に相当し、十分な準備高水準といえよう。



出所：BSP のデータをもとにキャピタル アセットマネジメントで作成

以上